

- 問1 北ヨーロッパのスカンディナビア半島などの高緯度地域で見られるフィヨルドと、日本の志摩半島などで見られるリアス海岸を比較したとき、フィヨルド特有の背景として正しいものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|---------------------------|-------------------------|------------------------------|
| 1. サンゴ礁の死骸が積み重なって形成されたこと | 2. 過去に大規模な氷河による侵食を受けていること | 3. 内陸の盆地において土砂が堆積しできたこと | 4. 河川による侵食によって深いV字型の谷が作られたこと |
|--------------------------|---------------------------|-------------------------|------------------------------|
- 問2 現代の中国が抱える人口問題について、老年人口の推移とその背景を説明したものととして正しいものを選択してください。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 老年人口の割合が非常に短期間で上昇しており、急速な高齢化への対応が課題となっている。 | 2. 若年層の人口が老年人口を大幅に上回り続けているため、高齢化の速度は極めて緩やかである。 | 3. 都市部への人口集中により、農村部においてのみ老年人口の割合が一定に保たれている。 | 4. 一人っ子政策の廃止によって出生率が劇的に改善したため、高齢化の傾向は解消された。 |
|---|--|---|---|
- 問3 世界的に人口が増加するなかで、多くの地域で水資源の不足が懸念されています。地球上の淡水の状況から考えて、水資源問題が発生する背景・理由の説明として最も適切なものを1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 地球上の全水資源の約90%を占める淡水が、特定の発展途上国だけに集中して存在しているため。 | 2. 海水淡水化の技術が完成したことで、かえって河川や湖などの淡水資源が急激に枯渇したため。 | 3. 人類が手軽に利用できる淡水の割合が全体のごくわずかであり、地域による水資源の偏りも大きいため。 | 4. 淡水資源は世界各地に均等に存在するものの、気候変動によって海水の塩分濃度が急上昇しているため。 |
|--|--|--|--|
- 問4 北京の気候について、季節風（モンスーン）や大陸の影響を考慮した説明として最も適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 偏西風と暖流の影響を強く受け、冬でも気温が下がりにくく一年を通して平均的に雨が降る。 | 2. 一年中高温多湿で、季節による気温や降水量の変化がほとんど見られない気候である。 | 3. 季節風の影響で夏は高温多湿となるが、冬は大陸の影響を強く受けて極めて寒冷で乾燥する。 | 4. 一年を通じて降水量が極めて少なく、日中の気温上昇が激しい乾燥した気候である。 |
|---|--|---|---|
- 問5 東経100度線上の地域において、北回歸線（北緯約23.4度）付近からさらに北の中緯度地域へ向かって移動した場合、一般的に見られるようになる気候帯の性質として正しいものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. 緯度が上がるにつれて乾燥が激しくなり、植物が育たない砂漠が広がる。 | 2. 常に上昇気流が発生するため、毎日午後にスコールと呼ばれる激しい雨が降る。 | 3. 季節風（モンスーン）の影響を受けながら、季節ごとの気温や降水量の変化が明瞭になる。 | 4. 一年を通じて偏西風の影響のみを強く受け、気温の年較差がほとんどなくなる。 |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問6 世界の諸都市の気候を比較した際、「1月の平均気温がマイナス10度を下回るほど寒さが厳しく、夏の気温も20度弱までしか上がらない。年間降水量は約700mm程度で、夏にやや雨が多くなる」という特徴を持つ都市として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|-----------|
| 1. ローマ | 2. カイロ | 3. モスクワ | 4. シンガポール |
|--------|--------|---------|-----------|
- 問7 オセアニアのツバルのような高温多湿な地域と、ロシアのヤクーツクのような冷帯で永久凍土が広がる地域の住居には、ともに床を高くした「高床」の仕組みが見られます。ヤクーツクにおいて、このように床を高く設計する理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 建物の熱が地盤に伝わって永久凍土が融け、建物が沈むのを防ぐため | 2. 夏季の激しい降雨によって発生する大規模な洪水から家財を守るため | 3. 建物全体を凍結から守り、冬季の激しい降雪による埋没を避けるため | 4. 乾燥した地域において、砂嵐による床下への土砂の流入を防ぐため |
|------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問8 低緯度の赤道直下に位置する高山気候の都市と、同じく赤道直下の低地に位置する都市の気温の変化を比較したとき、高山気候の都市に見られる特徴として正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 1. 低緯度のため日射量が多いが、標高が高いため年間を通じて気温が低く安定している | 2. 海から遠い内陸の盆地に位置するため、夏と冬の気温差が非常に大きい | 3. 高緯度に位置する地域と同様に、冬の期間が長く夏でも気温が上がらない | 4. 周辺を流れる暖流の影響により、標高が高いにもかかわらず熱帯雨林気候と同じ気温になる |
|---|-------------------------------------|--------------------------------------|--|
- 問9 近年、日本の飲食店や食品メーカーにおいて、イスラム教の教えに従った食品であることを示すマークを商品やメニューに表示する動きが広がっています。このような取り組みが行われる背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 一定の期間、飲食を断つ修行を行う人々のために、栄養価の高い特別な食材であることを証明するため | 2. グローバル化に伴いイスラム圏からの観光客や移住者が増え、宗教上の習慣に配慮した食事の提供が必要になったため | 3. 特定の地域で生産された農産物について、その品質が国際的な基準を満たしていることを保証するため | 4. 仏教の影響を強く受けた日本において、肉や魚を使わない伝統的な食文化を海外に普及させるため |
|---|--|---|---|
- 問10 1970年から2020年にかけての人口構成の変化において、中国では1990年頃から総人口に占める65歳以上の人々の割合が急上昇し、インドと比較しても高い水準となっています。このように、総人口に占める65歳以上の人口を指す用語として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------|
| 1. 労働力人口 | 2. 生産年齢人口 | 3. 老年人口 | 4. 年少人口 |
|----------|-----------|---------|---------|
- 問11 地中海沿岸で行われている農業において、夏の乾燥した時期にオリーブやぶどうなどの栽培が盛んな理由として、最も適切な説明を選んでください。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 年間を通して高温多湿な気候であり、大量の水を必要とする作物に適しているため。 | 2. 家畜の飼育と穀物の栽培を組み合わせることで、土地の肥沃さを保つ必要があるため。 | 3. これらの作物が耐乾性に優れ、夏の少ない降水量でも育つことができるため。 | 4. 高緯度の冷涼な気候をいかして、成長が早い作物を短期間で栽培する必要があるため。 |
|---|--|--|--|
- 問12 世界の水資源の利用と経済の関連について、各地域の統計的な特徴を説明したものととして正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. アフリカは1人当たりの国内総生産こそ最小であるが、広大な農地を潤すために1人当たりの取水量は世界で最大である。 | 2. アジアは急速な工業化の影響により、他のどの地域と比較しても生活用への取水割合が最も大きくなっている。 | 3. 1人当たりの国内総生産と取水量は密接に関連しており、北アメリカは両方の数値において世界で最大となっている。 | 4. 工業用の取水量は、その地域の経済規模とは関係がなく、乾燥した気候であるかどうかといった自然環境によってのみ決定される。 |
|--|---|--|--|